

加藤／テーマについて話す。

コロナの流行の最中にある。大変な状況。収束も見通せない今こそ、ハンセン病から学びたい。

1.

(1) 医療従事者、市民も運動をした。地域から患者を追い出した。コロナ禍も人権侵害が起きた。ハンセン病との共通点があった。

(2)

病歴を明かせないので、医療や介護を受けられない人も。できることを考えたい。

(3)

優生思想が今も根強い。次に社会防衛思想。最後に、施設化政策の3つ。

感染症への差別を知り、生き方を考えたい。

2.

(1)

法律用語、医学、行政もハンセン病に変わった。

らいという呼び名は蔑称。強い偏見につながる。入所者が病名変更に取り組んできた。戦後から。

(2)

全会一致で可決された。差別的な言葉を廃止することが可決された。